



大阪落語の祖・米澤彦八に感謝を込めて 夏の終わりの「彦八まつり」

上方文化の拠点、
生國魂神社に「彦八の碑」



「いくたまさん」と親生まれ、大阪最古の神社とされる生國魂神社は、元は現在の大坂城を含む地域にありましたが、豊臣秀吉が大坂城を築く際、現在地(生玉町)に移転されました。江戸時代、幕府直轄となった大坂では、町人による上方文化が花開き、元禄期(1688~1704)に隆盛を極めます。



▲生國魂神社の本殿は、3つの破風(はふ)を持つ生國魂造。彦八が活躍した時代からこの場所にあった
▲江戸時代中期の絵師・大岡春ト(しゅんぼく)が描いた米澤彦八(大阪府立中之島図書館所蔵「半百人一句」より)



その芸能の中心舞台が生國魂神社で、境内では大勢の芸人が自由に芸を競い合っていたのです。

なかでも注目を浴びていたのが、大阪落語の祖と仰がれる米澤彦八でした。彦八は「当世仕方物真似」の看板を掲げ、役者などの物真似芸や「落ち」に

重点を置いた小唄などで、聴衆を大いに笑わせていたようです。

そんな彦八の名を後世に残すため、平成2(1990)年、生國魂神社の境内に、六代目笑福亭松鶴さんの遺志を継いだ門弟たちが「彦八の碑」を建立。翌年から毎年、松鶴さんの命日(9月5日)にちなんで9月上旬の土・日に、上方落語のさらなる発展と後世への継承を目的とした「彦八まつり」が開催されています。

寄席も上方落語の道具も、
はじまりは彦八から



今年の「彦八まつり」の実行委員長は、人情斬や手話落語の名手として知られる上方落語界の最長老、桂福団治さんです。米澤彦八と「彦八まつり」について、福団治さんにお話を伺いました。

「境内で囲いをして、お客さんに入っていた。それを彦八さんが初めてやられました。寄席小屋の出発点になったわけですね。落語は、聴く芸ですけれども、当時ですから、形態模写を見せるほうが主体の小唄をしていって、彦八さんの小唄を原形に発展してきた落語は、最終的に聴く、が100%の想像芸になりました」



「コロナ禍で生まれた時間に古典『寿限無(じゅげむ)』の手話落語をマスターできました」と穏やかに笑う桂福団治さん

また、上方落語独特の道具である見台、膝隠し、小拍子もルーツは彦八でした。「雑音の多い大道で斬をするのに、パーンと台を叩いて周囲の人を引きつけたんでしょね。江戸落語は座敷芸ですから必要なかったんです」

落語の道を60年以上歩んできた福団治さんにとって、「彦八の碑」は心の拠り所といえるもの。生國魂神社の近くを通るたびに、手を合わせて感謝を捧げているそうです。

今年は映像で楽しみ、
来年こそ「いくたまさん」へ!



「彦八まつり」は生國魂神社に上方の落語家が集結する、落語家の文化祭＆ファン感謝デー。落語家を使用した扇子を奉納する「扇納祭」を主軸に、その年の実行委員長が打ち出すテーマに沿ったイベント、「素人演芸バトル」など恒例のコンテンツ、奉納落語会などが行われるほか、落語に登場するネタをテーマに落語家が切り盛りする約40店の「おもしろ屋台」が所狭しと並びます。

落語家との密接なふれあいを楽しめるのが大きな魅力で、来場者は全国から毎年約10万人。大阪の夏の終わりを「笑い」で彩る風物詩となりました。



過去の「彦八まつり」の名物屋台

そして昨年、福団治さんが実行委員長に記念すべき第30回を迎えました。今年もコロナ禍の影響で一年の延期に。今年9月5日(日)にオンラインで開催されます。

「私のテーマとしては、彦八さんの原点に返って、『いくたまさん』の境内で大道芸を再現したいという思いがあったんです。それを生でお見せできないのは非常に残念ですが、動画の配信を考えているところです。今回は超アナログな落語という話芸をインターネットで全国の方、落語に関心のない方にも見ていただけるチャンスと想っております。デジタルな画面の中でアナログな落語の良さを感じていただき、落語以外のことをする斬家の姿にも興味を持っていただければ。それで、ぜひ生の舞台や



「彦八まつり」のマスコットキャラクター「彦八くん」

来年の「彦八まつり」に来ていただきたい。特に大阪落語発祥の地、天王寺区の方々には、一人でも多くの方にお越しいただきたいですね」と福団治さん。生國魂神社が笑いと賑わいに包まれる本来の「彦八まつり」。その日を心待ちにしながら、今年もライブで配信される様々なイベントを自宅で気軽に楽しんでみませんか。

彦八まつり30回記念「デジタル彦八まつり」

日時 / 9月5日(日)

- 繁昌亭YouTubeチャンネルでの無料配信(12:00から)
(扇納祭、いくたま大道芸、B級グルメ対決、斬家クイズほか)
- 記念落語会 (共に有料配信もあり)
神戸新開地・喜楽館 昼公演
天満天神繁昌亭 夜公演



詳しくはこちら

問 上方落語協会 ☎ 6354-7727

天王寺区の統計 (令和3年7月1日現在)

● 推計人口:83,118人 ● 世帯数:42,862世帯 ● 面積:4.84km²

天王寺区役所

● 天王寺区役所・保健福祉センター
〒543-8501 真法院町20-33
● ホームページ www.city.osaka.lg.jp/tennoji



目次

- 2 いいね♪天王寺 夏の終わりの「彦八まつり」
- 3 お知らせ
- 5 保健衛生
- 6 子育て情報
- 7 イベント情報
- 8 わがまち天王寺
- 9 大阪市民のみなさんへ
- 12 SDGs ～持続可能な社会をめざして～ / 天王寺区区政会議委員を募集します / 夏休み 親子で参加したいイベント集合!

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントなどが変更または中止となる場合があります。

